



MMWIN® みんなのみやぎネット® 通信

2015年4月号

医療・介護情報の更なる共有の推進、
御支援、御協力宜しくお願い申し上げます。

■ 災害に備えて医療情報バックアップ、着実に増加しています！

医療情報連携に加え、万一の災害時に備え、参加施設から、医療情報のバックアップを実施しています。下表のように、着実に増加しています。

施設区分	4/3	4/10	4/17
病院	1,378,144	1,378,945	1,379,995
診療所	66,231	67,570	68,268
調剤薬局	434,736	443,611	451,751
介護福祉施設	9,148	9,148	9,173
合計	1,888,259	1,899,274	1,909,187

■ 患者さん加入促進にお役立てください！

施設内に掲示いただくポスターや、受付窓口を設置いただく、患者さん向けパンフレットや、パンフレット・スタンド、更に、加入申込書や患者さんにご記入いただいた申込書をMMWIN事務局にお送りいただくための受取人払い用封筒など、また、加入いただいた患者さんのカルテなどに貼付して、その患者さんがMMWIN加入者であることを示すシール等をご提供しています。

MMWINポータルサイトのバナー『患者さん加入促進ツール』をクリックすると、「ツール申込書」のPDFが表示されます。印刷の上、ご記入いただき、サポートセンターにFAX、もしくは、メールで、お申し込みください。

■ まずは 利用者登録を！

MMWINシステムを御利用いただくには、利用者登録が必要です。患者さんの医療・介護情報を取り扱うため、MMWINシステムは、強固なセキュリティーで、守られています。御利用の皆様には、個々に、事前登録をしていただき、IDやパスワード、PINコード(4桁の数字)を設定します。登録が完了すると、写真入りのICカードをお送りします。IDについては、いつ、誰が、どの患者さんの情報にアクセスし、追加、削除、変更などの操作をしたかなど、後日、監査などの際にも使用されます。未だ、ICカードをお持ちでない方、至急、利用者登録申請をお願いします。お申込み方法等、ご不明な点は、P. 4 末尾のサポート・センター、もしくは、事務局へお問合せください。

■ 患者さんに 加入のお勧めを！

MMWINによる情報連携に同意した患者さんも、下表のように増加していますが、まだまだ、拡大が必要です。実際の臨床での情報共有、連携の機会増大のためには、もっと多くの患者さんの同意・加入をいただくことが必須です。患者さんへの、加入のお勧め、宜しくお願い申し上げます。また、ポスターの掲示やパンフレットの設置等も併せて宜しくお願い申し上げます。

情報連携に同意されている患者さん数 (4/17 現在)

施設区分	4/3	4/10	4/17
病院	2,678	2,719	2,769
診療所	1,047	1,052	1,073
調剤薬局	222	227	233
介護福祉施設	103	103	104
合計	4,050	4,101	4,179



ポスター
パンフレット



■ 患者さんからのIDカード提示を！

他の施設で、加入された患者さんの情報を見るためには、患者さんにIDカードを提示いただき、皆様の施設のローカルID(カルテ番号や診察券IDなど)と結び付け(『紐付け』処理)が必要です。IDカードの提示を促すために、受付窓口、右上のようなパネル・スタンドを設置ください。

(p.2 ※に続く)

仙台市青葉区中央3-10-19 仙台KYビル7階 (一時移転先)
【サポートセンターTEL】022-399-6880 【サポートセンターE-mail】 support@mmwin.or.jp
【事務局TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】 office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信出来ない場合がございますので、MMWINドメイン「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



【参加施設訪問】

今回は、MMWINに参加されている、薬局、介護施設に訪問してまいりました。ご指摘いただいた事柄等を共有させていただきます。引き続き、参加施設の皆様の声をどんどんご紹介させていただきます。ご協力いただける施設の皆様、是非、お声掛けください。取材に伺います。

■ 薬局での利活用推進 に向けて

来店された患者さんの調剤情報を毎日、アップロード(バックアップ)いただいている、仙台市宮城野区 東口駅前調剤薬局 管理薬剤師 曾 萍先生に伺いました。



患者さんの加入促進、『紐付け』を推進するために

「患者さんが、たくさんお待ちの時などは、『紐付け』の処理をしている余裕がない」とのことでした。

← 患者さんのIDカードのコピーを取らせていただき、お手すきの際に『紐付け』処理をしていただくことも可能です。

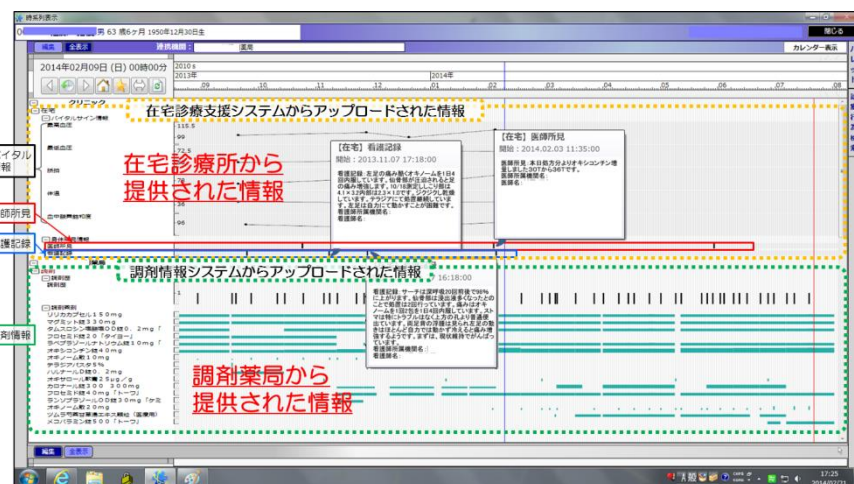
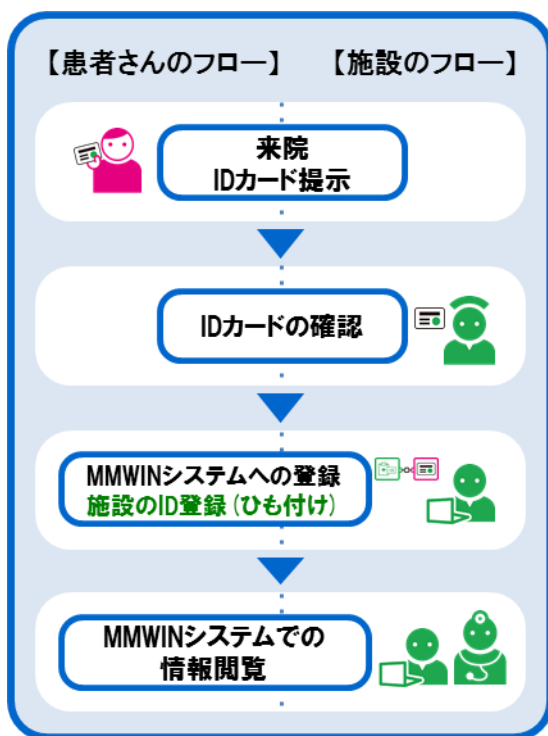
患者さんから加入申込書にご署名いただき、MMWIN事務局に郵送い

ただければ、IDカードの発行から、患者さんへの郵送まで代行いたします。薬局向けポスターやパンフレットを薬局店内のカウンターなど、患者さんの目にとまるところに設置いただき、先ずは、患者さんへの周知をお願いします。

※(p.1より続く)

■ 『紐付け』の実施を！

他の施設で、MMWINに加入された患者さんが、皆様の施設に来訪された際、MMWIN健康共通IDを、自施設のローカルID(カルテ番号など)に『紐付け』する必要があります。紐付けすることにより、自施設での診療・調剤・介護などの情報と他施設での情報を並べて見ることができます。



■ 県薬剤師会研修会でも、MMWIN推進にご協力いただきました (写真:右上)

4月2日に宮城県薬剤師会主催で県全域の会員向けのネット研修会が開催され、その中で、山田常任理事より、MMWINをご紹介頂き、その推進にご協力いただきました。ありがとうございました。



■ 介護施設での利活用に向けて(写真:右中・下)

既に、数多くの入所者さんの介護情報をアップロードされている

名取市 特別養護老人ホーム うらやす

作業療法士 尾形 志朗係長 (施設長: 佐々木 恵子様) に伺いました。

『現在、ワイズマンソフトを利用した記録の電子化への取組みを進めているところで、MMWINへの加入推進までは至っていない状況です。まずは組織のICT化をすすめ、MMWINを有効活用できる体制を作りたいと考えています。』とのことでした。

← 加入のお勧めについては、ポスターや入所者(患者さん)向けパンフレットを面談室などに設置いただき、新たな入所者受入れの際におすすめていただければと思います。

IDカードの発行や、ご家族の元へお届けするのは、MMWIN事務局で代行いたします。

新たに入所される方のなかには、既にMMWINにご加入されているケースもあると思います。その場合、それまでの診療歴や処方歴などを正確に把握するために、『紐付け』が必要です。

(左頁、ご参照ください。)

うらやす様では、『暮らす つながる 守る』を施設のコンセプトとしていらっしゃいます。緊急の際には、隣接されている、森内科クリニック様で対応が可能で、入所者さんが、MMWINに加入されている場合には、MMWINに参加されている、森内科クリニック様でも、入所以前の診療歴、処方歴が参照できます。



■ 患者さんの声

MMWIN加入に先立ち、患者さんからいただいたご質問、コメントのいくつかを共有させていただきます。

> 『個人情報の管理が心配』

厚生労働省、総務省、経済産業省から発信されている、セキュリティ・ガイドラインを遵守し、ネットワーク、システム管理、運用面で、堅固に守られています。ご安心いただくよう、御回答ください。

> 『非常にいいシステムですね』

この方は、福島の方で原発事故の影響で、郡山、埼玉、仙台と何カ所も移動しなくてはならない方でした。「福島県は今年から医療連携システムを構築しています」とお伝えすると、「早く出来るといいですね」とおっしゃっていました。

> 『救急で使用できないのか』

・70歳の男性: 救急の場で使用出来れば患者さんにとって大変いいシステムですね。
・91歳の女性に付き添って来た娘さん: 救急病院などに運ばれた際、この連携システムで既往症や通院している病院などがわかれば助かりますね。

今までとは違い、「連携システムがこういう状況で使えればいいのでは」という、一步踏み込んだ視点からのコメント、声を耳にするようになりました。